

## 輸入コンテナへの殺虫餌（ベイト剤）設置に係るリスク評価の検討に係る教示依頼

### 【ベイト剤の有効成分・量、コンテナ内への設置方法】

- ・使用薬剤：フィプロニルを含むもの。

フマキラー製品「アルゼンチンアリ ウルトラ巣ごと退治」を使用。

<http://www.fumakilla.co.jp/products/insect/ari/post-52.html>

1個 0.5g、フィプロニル含有量 0.005%。

- ・設置規模：上記製品の使用解説及び有識者の意見を踏まえ、  
20 フィートコンテナ（6m×2.4m×高さ 2.6m）には1～2個  
40 フィートコンテナ（12m×2.4m×高さ 2.6m）には2～3個  
をコンテナ床面（主に四隅を想定）に両面テープで貼り付ける等固定
- ・設置期間：中国の工場でのコンテナ荷詰め時～日本の納品先での荷下ろしまで、通常2～3週間。経由港がある場合も1ヶ月以内と想定される。  
（上記製品の有効期間は約1ヶ月とされている。）
- ・上記製品の有効成分フィプロニルは、温度 200℃以上にならないと揮発しない。

※以上の情報はいずれも有識者、事業者、薬剤メーカー等から確認済み。

※現時点で有効と想定される設置方法であり、今後変更の可能性あり。

### 【お伺いしたい事項】

上記【ベイト剤の有効成分・量、コンテナ内への設置方法】のとおりベイト剤をコンテナに設置した場合における人の健康や当該コンテナ内の貨物（食品や電気製品等）に対する影響について、下記のとおりお伺いします。

- ① 当該コンテナ内の貨物（食品や電気製品等）に対して、何らかの悪影響が生じる可能性があるかと判断できるでしょうか。
- ② 上記①について、情報不足等により判断が困難な場合には、本件のようなベイト剤設置に係るコンテナ内貨物及び人の健康への影響評価が通常どのような情報、検討に基づき行われているのか、もし何か参考になる事例等を御存知であればご教示ください。また、スピード感を持って進めていく必要がある中で、可能な限り速やかに影響評価する方法についてもし知見をお持ちであれば、併せてご教示ください。

（以上）